

会議報告書

1. 開催概要

会議名：第Ⅰ回 八戸市中心街地区バリアフリー推進協議会

日 時：令和 8 年 8 月 19 日（水）14：00～15：10

場 所：八戸ポータルミュージアムはっち 1 階 シアター 1

出席者：座席表のとおり

2. 会議要旨

中心街地区を対象としたバリアフリー基本構想の作成に向けて、基本構想制度の概要や中心街のバリアフリー化の現状について情報共有し、検討体制や今後の進め方を確認した上で、関係機関と意見交換を行ったもの。

3. 主な意見

- ✓ 車いす利用者の通行に配慮して点字ブロックを設置したり、トイレは引き戸として十分な広さを確保するなど、総合的な視点で多様な方に配慮したバリアフリー化を推進することが重要である。
- ✓ 階段や坂は、高齢者や障がい者だけでなく、大きな荷物を持つ旅行者や、ベビーカーを押す子供連れの移動にとっても支障となるため、八戸の地形を考慮したバリアフリーの推進が重要である。
- ✓ 中心街は、ユニバーサルデザイントイレの数がまだ足りない。加えて、女性用のトイレも圧倒的に不足している。
- ✓ 障がいがある方に合わせた整備の推進は、全ての方に優しいまちづくりに繋がるのではないかな。
- ✓ 八戸は、移動のしやすいコンパクトシティが形成されているので、そういった強みを活かした地方のモデルケースとしてアピールできる計画にしていきたい。
- ✓ ハード整備は大きな予算が必要だが、AI などを活用した無料の移動サポートシステムなども存在するので参考にしてほしい。
- ✓ ハード整備だけではなく、小学校等におけるバリアフリー教室の開催など、地域住民の意識啓発に関する取組も併せて進めることも大切である。
- ✓ 横断歩道で停車しない車も多いため、歩行の安全性確保にも配慮してほしい。